

SENKEN PRESENTS

松田理奈

ヴァイオリン・リサイタル

話題のリリースから10年
ラヴェルの“深化”を聴く——

PROGRAM

モーツァルト: ヴァイオリン・ソナタ第33番 ヘ長調 K.377
Mozart: Violin Sonata No.33 in F Major, K.377

ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第2番 イ長調 Op.100
Brahms: Violin Sonata No.2 in A Major, Op.100

ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタ「遺作」
Ravel: Violin Sonata, Op. posth

ラヴェル: ヴァイオリン・ソナタト長調
Ravel: Violin Sonata in G Major

ラヴェル: ツィガース
Ravel: Tzigane

ピアノ
清水和音

2019.12/17 [火] 19:00開演
(18:30開場 / 21:00終演予定)

紀尾井ホール

7:00p.m., Tuesday, December 17, 2019 at Kioi Hall

一般¥5,000【全席指定】※チケット料金には消費税が含まれております。

ジャパン・アーツ夢倶楽部会員 WEB:9月14日(土) TEL:9月15日(日)

ジャパン・アーツびあネット会員:9月19日(木)

主催:ジャパン・アーツ 特別協賛:SENKEN株式会社

【お申込み】

ジャパン・アーツぴあ

0570-00-1212

www.japanarts.co.jp

紀尾井ホールチケットセンター 03-3237-0061

<http://www.kioi-hall.or.jp/>

チケットぴあ t.pia.jp 0570-02-9999 (Pコード:160-926)

イープラス eplus.jp

ローソンチケット 0570-000-407 (Lコード:33026)

9/21(土)

10:00

前売開始



作品への深い共感を大切にしつつ、心で音楽を奏でるヴァイオリニストの松田理奈。

最近の彼女の演奏にはめざましい音楽的進化が窺える。

今年1月の東京オペラシティにおける“B→C”シリーズでは、

バロックから現代曲までの巧みな選曲・配列と

それぞれの曲に応じたスタイルと奏法によって、

今までの彼女のイメージを打破する演奏を聴かせてくれた。

そこには現状に甘んじることなく、新たな境地を求め続ける意欲的な姿勢が見て取れた。

今回のプログラムはかねてから彼女が得意とするレパートリーが中心だが、

敢えてそうしたプロによって以前からさらに深化した

今の自分の境地を示したいという思いがこのリサイタルにはあるようだ。

そのことは10年前に同じ紀尾井ホールでやはり清水和音のピアノで演奏した

ラヴェルの3つの作品を再演することに現れている。

筆者自身、この時のラヴェルの清新な演奏に魅了されて彼女に注目するようになったのだが、

それだけに10年経っての彼女の成熟がどう現れるのか楽しみでならない。

前半のモーツァルトとブラームスでは、彼女本来の美質である情感のこもった

陰影豊かなカンタービレに、さらなる奥行きと熟した味わいが加味されることだろう。

進境著しい松田理奈の今の芸風にじっくりと耳を傾けたい。

寺西基之 (音楽評論家)

松田理奈 (ヴァイオリン) *Lina Matsuda, Violin*

桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースにて研鑽を積み、2006年ドイツ・ニュルンベルク音楽大学に編入。2010年、同大学院を首席にて修了。1999年に初ソリサイタルを開催した後、2001年第10回日本モーツァルト音楽コンクールヴァイオリン部門第1位、同コンクール史最年少優勝。2002年にはトッパンホールにて「16才のイザイ弾き」というテーマでソリサイタル開催。2004年、第73回日本音楽コンクール第1位、2007年にはサラサーテ国際コンクールにてディプロマ入賞。2013年新日鉄住金音楽賞受賞。これまでに国内の主要オーケストラに加え、ハンガリー国立フィル、スーク室内オーケストラ、ヤナーチェク・フィルハーモニー室内管、ベトナム響など数々のオーケストラや著名指揮者と共演。2006年ピクチャーより「ドルチェ・リナ」をリリース。その後「カルメン」、清水和音とライブ収録した「ラヴェル・ライブ」、『イザイの無伴奏ヴァイオリン・ソナタ全曲集』をリリース。2018年にはブラームスとフランクのソナタを収録した5枚目のアルバムをリリースした。

オフィシャルホームページ <http://linamatsuda.com>



清水和音 (ピアノ) *Kazune Shimizu, Piano*

完璧なまでの高い技巧と美しい弱音、豊かな音楽性を兼ね備えたピアニスト。ジュネーヴ音楽院にて、ルイ・ヒルトブランド氏に師事。1981年、弱冠20歳で、パリのロン＝ティボー国際コンクール・ピアノ部門優勝、あわせてリサイタル賞を受賞した。これまでに、国内外の数々の著名オーケストラ・指揮者と共演し、広く活躍している。室内楽の分野でも活躍し、共演者から厚い信頼を得ている。これまでにソニーミュージックやオクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースし、各誌で絶賛されている。2011年には、デビュー30周年を記念して、ラフマニノフのピアノ協奏曲第1番～第4番とバガニーニの主題による狂詩曲の全5曲を一度に演奏するという快挙を成し遂げた。2014年から2018年の5年間は年2回のリサイタル・シリーズ「清水和音 ピアノ主義」を開催。幅広いレパートリーで聴衆を魅了した。2016年4月からは、年6回の室内楽シリーズ「芸劇ランチコンサート」を開始するなど精力的な活動を続けている。桐朋学園大学・大学院教授。

©Mama Miki

特別割引チケットのお知らせ

◎車椅子の方は、本人と付き添いの方1名までが割引になります。必ず事前にご予約ください。(ジャパン・アーツぴあコールセンターのみで受付)

(次のことをあらかじめご承知の上、チケットをお求め下さいませ) ①やむを得ない事情により、曲目・曲順等が変更になる場合がございます。②公演中止の場合を除き、お求め頂きましたチケットのキャンセル・変更等はできません。③いかなる場合も再発行できません。紛失等には十分ご注意ください。④演奏中は入場できません。⑤未就学児の同伴はご遠慮下さい。なお就学児以上の方もご入場には1人1枚チケットが必要です。⑥全指定席です。指定の座席にてご鑑賞下さい。⑦場内での写真撮影・録音・録画・携帯電話等の使用は、固くお断りいたします。⑧ネットオークションなどによるチケットの転売は、トラブルの原因になりますのでお断りいたします。⑨他のお客様のご迷惑となる場合、主催者の判断でご退場いただく場合がございます。

Twitterでフォローする
@japan_arts



ブラームスとフランク2曲のソナタを情緒豊かに表現し、松田理奈の美質と真価が存分に示された名演。

「ブラームス第1番フランク ヴァイオリン・ソナタ」

松田理奈 (ヴァイオリン) 清水和音 (ピアノ)

VICC-60950 / ¥3,000+tax / Now On Sale

収録曲

ヨハネス・ブラームス: ヴァイオリン・ソナタ第1番 長調 作品78「雨の歌」
セザール・フランク: ヴァイオリン・ソナタ イ長調